

# きれい 甲斐

No.47 JULY 2009

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。  
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内  
TEL.055-223-1503 FAX.055-223-1507 ✉ kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

## 平成21年度定期総会を開催

平成21年度定期総会を、6月5日(金)、甲府市総合市民会館で開催しました。

開会にあたり、宮川会長からあいさつがあり、来賓の山梨県小林森林環境部長からご祝辞をいただきました。

議事では、平成20年度事業報告・収支決算報告、平成21年度事業計画・収支予算及び役員を選任について原案どおり承認されました。

平成21年度「環境パートナーシップやまなし」定期総会



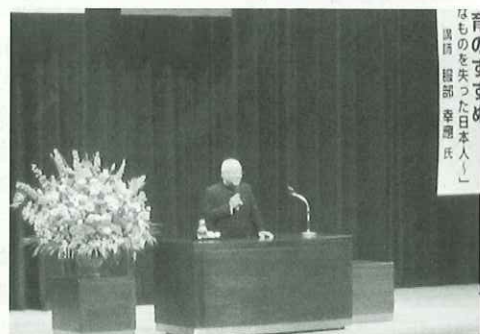
## 役員・企画委員

会 長	宮川 睦	山梨県中小企業団体中央会			
副 会 長	大澤 英二	山梨県ボランティア協会	野口 英一	勸富士山をきれいにする会	
	天野 一	山梨県PTA協議会	渡辺 一彦	日本労働組合総連合会山梨県連合会	
	廣瀬 久信	山梨県農業協同組合中央会	渡辺 恭史	山梨県商工会議所連合会	
監 事	井上 勲	山梨県建設業協会	辻 一幸	山梨県林業団体協議会	
企 画 委 員					
(広報専門部会)	長田 孝夫	山梨県商工会連合会	田中 収	山梨県自然保護教育振興会	
	山田 紀彦	山梨県私立中学高等学校連合会	齋藤 紳悟	山梨県私立幼稚園協会	
	神宮寺 聡	山梨県労働者福祉協会			
(3R推進・温暖化対策専門部会)	伊藤 祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	依田 茂己	山梨県青少年団体連絡協議会	
	飯藤 さか	山梨県女性団体協議会	平山 俊夫	山梨県老人クラブ連合会	
	高橋 勇	コープやまなし	井上 寛	環境に関する企業連絡協議会	
	岡 尚志	学 識 経 験 者	黒田 光秀	学 識 経 験 者	
	仲澤 早苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会	望 京子	山梨県生活研究グループ連絡協議会	

## 「環境フォーラムinやまなし」を開催しました 県森林環境部

環境パートナーシップやまなし定期総会の後、同会場にて環境フォーラムを開催しました。

環境フォーラムでは、県環境保全功績者表彰を行うとともに、テレビなどで有名な服部幸應氏を招き、「環境と食育のすすめ 一大切なものを失った日本人」と題し、食育と環境への想いについて、ユーモアを交えながら、楽しいお話をいただきました。



「なものを失った日本人」  
服部 幸應氏

# 平成21年度事業計画

## 1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

- (1) 広報誌の発行
  - ・会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とします。
  - ・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
  - ・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていきます。
- (2) 会員の募集
  - ・会員の拡大(募集)を図るため、効果的な広報活動を行います。
- (3) ネットワークづくりのための調査・研究
  - ・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての研究を行います。

## 2. 3R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

- ・ごみ減量化に向けたお絵かきコンテストの開催  
県内の幼稚(保育)園児や小学生、中学生を対象として、マイバッグを題材とした「お絵かきコンテスト」を開催することにより、子供たちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、3Rの推進を図ります。
- ・3R推進、地球温暖化防止に関するワークショップの開催  
県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、マイバッグ普及や地球温暖化防止に関するワークショップを開催します。
- ・「県民の日」記念行事におけるごみ減量化運動  
「県民の日」記念行事がごみの出ないイベントとなるよう、ごみの持ち帰り運動を実施します。
- ・環境に関するイベント等の実施  
「県民の日」等のイベントにおいて「環境パートナーシップやまなし」のブースを設置し、各団体が取り組んでいる活動を紹介します。

## 3. その他

- ・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充  
「やまなしクリーンキャンペーン」、「ボランティア月間」、「ノーレジ袋推進キャンペーン」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

# マイ(エコ)バッグお絵かきコンテスト2009

昨年からはじめたレジ袋の無料配布の中止ですが、クリーニング店での取り組みが開始されるなど、一層の取り組みが広がっています。

環境パートナーシップやまなしでは、今年度も引き続き、「マイ(エコ)バッグお絵かきコンテスト2009」を実施しています。このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒から「マイ(エコ)バッグ」に関する絵を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。賞品を多数用意していますので、会員の皆様のお子様などにもふるって応募いただきますようご協力をお願いします。

**応募方法** 専用の応募用紙(コピー可)にマイバッグを題材にした絵をご自由にお描きいただき、80円切手を貼り、ポストに投函してください。

**応募メ切** 平成21年9月4日(金)

**発表** 審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。  
また、11月14、15日に小瀬スポーツ公園で開催される「県民の日記念行事」で入賞者の表彰を行ない、賞品を贈呈します。

**応募先・問い合わせ先** 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
環境パートナーシップやまなし事務局(県環境創造課内)  
TEL 055-223-1503



**マイ(エコ)バッグお絵かきコンテスト2009**

賞品 ミニランド子猫3名分(大人2名+子供1名)・・・1名  
子ども風呂敷・抱き枕・音楽ギフト等(いずれも5000円分)・・・25名  
毎月20日抽選発表

応募メ切 2009年9月4日(金) 郵送受付

応募先・お問い合わせ先  
環境パートナーシップやまなし事務局(県環境創造課内)  
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1503

主催 環境パートナーシップやまなし

# 日常生活のCO<sub>2</sub>削減に取り組んでみませんか？

～山梨県消費生活研究会連絡協議会～

温室効果ガスの排出量のうち大部分を占めるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）は、石油や石炭などの化石燃料を燃やす際に発生することから、私たちの日常生活や事業活動のあらゆるところから発生しています。私たちが自動車のガソリン、ストーブの灯油、台所のガスなどの燃料を使うときに直接発生するだけでなく、電気を使うときも、発電所で大量の燃料を使って発電しているため、間接的に発生させていることとなります。また、ごみを出せば、焼却場からCO<sub>2</sub>を発生させることとなります。

このようなことから甲府の平均気温も1900年頃から1980年頃までに約1℃上がり、その後の20年間で、さらに約1℃と急激に上がっています。この100年間で世界の平均気温は0.7℃、日本では約1℃上がっていますが、甲府では2℃と気温上昇の進行が速いと言われています。

山梨県消費生活研究会連絡協議会では、CO<sub>2</sub>削減に関して、県民約2000名を対象としたアンケート調査（実施期間平成20年7月～8月）を実施したところ、CO<sub>2</sub>削減のための様々な取り組みの回答をいただきました。この場をお借りして、アンケートで回答のあった取り組みを紹介いたします。私たちも、日常生活の中で取り組めることから実践し、CO<sub>2</sub>を削減しましょう！！

## （アンケート回答の紹介）

### ○家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房と照明を減らす。

家族が別々の部屋で過ごす、冷暖房も照明も余計に必要になります。

→同じ部屋で過ごす、年間約238kgのCO<sub>2</sub>削減、約10,400円の節約になります。



### ○お風呂の残り湯を洗濯に使い回す。

省エネタイプの洗濯機には、風呂水使用のボタンがついていますが、残り湯利用のために市販されているポンプも便利です。洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っているという方もいました。

→年間約7kgのCO<sub>2</sub>削減、約4,200円の節約になります。



### ○近くに出かけるときには、徒歩か自転車にする。

健康のためにも、近くへのお出掛けには、徒歩か自転車を使うようにし、CO<sub>2</sub>の削減に努めることが大切です。



### ○ごみを出すときには分別をきちんとする。

市町村によっては、分別方法が異なりますが、地域で決められている分別をきちんと守り、資源物を回収するとともに、ごみになる物は買わないようにしましょう。



### ○待機電力を削減する。

長時間使わないときは、コンセントから抜く。家電製品の買い替えの時は待機電力の少ないもの、省エネタイプのものを選ぶようにしている。電気ポットは使わない。などが多くの方の回答でした。

→待機電力を50%削減すると、年間約60kgのCO<sub>2</sub>削減、約3,400円の節約になります。



### ○マイバッグ・マイバスケットを持参し、包装の少ない物を買う。

トレイやラップは家に帰れば、すぐにごみになります。包装の少ない物を選び、マイバッグやマイバスケットを持参し、レジ袋を減らしましょう。



# やまなし環境教育実践指針を活用しませんか?

県環境創造課

地球温暖化、廃棄物などの環境問題は、私たちの日常生活や事業活動と深く関わっています。県民一人ひとりが環境に関心を持ち、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を図ることが必要であり、環境教育の果たす役割はますます重要になってきています。



山梨県では、環境教育の積極的な実施と、環境保全の実践活動の活発化を支援するためのガイドブックとして「やまなし環境教育実践指針」を策定しました。

- ☆指針では、環境教育を推進する上での基本的な考え方や、各主体の役割、県の施策の方向性を明示し、様々な場における環境教育に関する具体的な取り組みを体系的に分かりやすく整理しています。
- ☆指針を活用して、県民の環境教育をお手伝いするため、地域の学習会や講演会に環境の専門家「エコティーチャー」の派遣を行っています。
- ☆指針の内容は、県HP(下記アドレス)で公開していますので、是非ご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kankysozo/kankyoyoiku-jissenshishin.html>  
「やまなし環境教育」でも検索できます。

## 会員リレートーフ Vol.8

## 学校からのごみを利用した作品

湯田高等学校校長 伊藤祐寛

学校から排出されるごみの種類は多い。中でも特に多いのが「可燃ごみ」であり、以前はほとんどが再利用もされず処理業者に引き取りを依頼していた。しかし最近では家庭で排出されるごみも分別収集となり、また温暖化防止に対する意識が高まったことも加わり、生徒も学校生活で排出されるごみに対しては、積極的に分別廃棄を行うとともに、再利用などの「エコ」も考えるようになってきた。休憩時間などに飲む飲料水は、ほとんどがペットボトルと紙パックであり、これらは別々にごみ箱がある。ペットボトルのキャップも別に捨てるが、通常これらはそのまま業者に破棄を依頼している。



ペットボトルのキャップ

6年前より生徒会がこれらを利用した全校生徒による作品を作成し、本学の学祭である「靖和祭」に展示することを提案し、その後毎年行われている。最初の作品は、ペットボトルのキャップで作成した「By All Sorts of People」、去年の作品は紙パックによる「ととろ」などが大変うまくできた作品である。これら廃品を利用した立派な作品を作成することは、生徒の「エコ」精神を伸ばすだけでなく、ごみでも利用の仕方により素晴らしいものになる、言い換えれば色々な物を別の視点から見られる力をつけることを期待したい。



キャップによる作品



紙パックによる作品

## ●投稿募集中

### 【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

### 【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。